

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 中 嶋 真理子
論文審査委員	主 査 八 田 光 世 印
	副 査 田 中 芳 彦 印
	副 査 大 星 博 明 印
論 文 題 目	当院小児歯科外来における抗菌薬処方傾向に対する抗菌薬薬剤耐性 (AMR) 対策の効果
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>本研究論文は、2014年1月1日から2021年12月31日までに福岡歯科大学医科歯科総合病院小児歯科外来において処方された経口抗菌薬を調査し、薬剤耐性 (AMR) 対策の効果を検証したものである。各年の使用状況を外来患者1日・1000人あたりの抗菌薬使用密度 (Daily Outpatients Dose: DOD) を用いて比較したところ、2016年4月の本邦における AMR 対策アクションプランの発表を受け、翌月に同院で開催された講習会以降、薬剤選択が第3世代セファロスポリン系からペニシリン系へと置き換わっていることが示された。さらに小児歯科の処方では各抗菌薬の DOD と外来患者100人あたりの処方日数で表す抗菌薬使用期間 (Days of Therapy: DOT) が同じ傾向を示すが、小児科では異なることが明らかになった。</p> <p>論文提出者は、論文審査において研究の背景・目的、方法、結果・考察を明確に示し、質疑に対して的確に回答した。本研究は AMR 対策および抗菌薬の適正使用に関する興味深い知見であり、今後のさらなる展開を大いに期待させるものであった。以上より、本研究論文を学位申請論文として適格であると評価し、審査結果を合格と判定した。</p>	